

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

「椿姫」

(2022年3月10日～3月21日)

ヴィオレッタ役 出演者変更のお知らせ

平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

2021/2022 シーズンオペラ『椿姫』ヴィオレッタ役に出演を予定しておりましたアニタ・ハルティヒは、直前のスケジュール及び入国制限(入国後の待機義務)により十分なリハーサル期間を確保できないことから、降板することとなりました。代わりまして、**中村恵理**が出演いたします。

報道各位におかれましては、本件公演情報の一般の皆様への周知にご協力をお願い申し上げます。

<プロフィール >

**中村恵理**

**NAKAMURA Eri**



大阪音楽大学、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。2008年英国ロイヤルオペラにデビュー。翌年、同劇場の『カプレーティ家とモンテッキ家』にネトレプコの代役として出演し、一躍脚光を浴びる。そののち、カーディフ国際音楽コンクールにて、歌唱賞・オーケストラ賞の両部門で本選進出。10～16年はバイエルン州立歌劇場専属歌手となり、『フィガロの結婚』スザンナ役でデビュー後、ケント・ナガノ、キリル・ペトレンコ、大野和士らの指揮のもと、『魔笛』『ホフマン物語』『ヘンゼルとグレーテル』『ボリス・ゴドゥノフ』などに主要キャストとして出演。英国ロイヤルオペラに『フィガロの結婚』スザンナ、『ウェルテル』ソフィー、『トゥーランドット』リユーなどで客演に招かれるほか、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザルツブルク州立劇場など客演多数。16年11月、『チェネレントラ』クロリンダでウィーン国立歌劇場にデビュー。19年には台中国家歌劇院の『神々の黄昏』ヴォークリンデに出演。12年度アリオン賞、15年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、17年第47回JXTG音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。大阪音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。新国立劇場では『フィガロの結婚』バルバリーナ(03、05年)、スザンナ(07、17年)、06年『イドメネオ』イーリア、07年『ファルスタッフ』ナンネッタ、19年『トゥーランドット』リユーなど出演多数。21年12月には『蝶々夫人』タイトルロールに出演し絶賛された。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

(公財)新国立劇場運営財団 制作部 オペラ広報:高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709 E-mail:takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp